



ミッションインポッシブルー 公共サービスなしの開発なんて不可能なこと

PSI、ジュネーブ、2015年6月18日-2008年の金融危機から7年、緊縮措置ではうまくいかなかったことは明白である。逆に、公共支出の削減は、より多くの失業と貧困及び不平等を生み出しただけであった。同時に、銀行や金融業ならびに企業の利益は急上昇し、公共サービスの資金として是が非でも必要な財源は租税回避地や租税回避の企てのなかに潜んでしまった。

6月23日の世界公共サービスデーに際して、ローザ・パヴァネリ国際公務労連（PSI）書記長は次のように語る。

「私たち全員が税金を払わなければならないなかで、なぜ多国籍企業は払わないのでしょうか？ PSI とグローバル労組運動および私たちが連携する市民社会団体は、膨大な額の税収を世界中の国々から奪っているグローバルな税金逃れの企てをなくすことに尽力しています。こうした財源は、社会開発にとって不可欠な保健医療 [healthcare](#) や教育、水と衛生 [water and sanitation](#) などの質の高い公共サービスに充てることができるはずのものです。」

労働運動は、多国籍企業が応分の税金を支払わないで済むようなグローバルな税規則を、これまでずっと非難してきた。こうした多国籍企業は、国の規制を超越した利益を上げられるようにするためだけのために考え出された TPP や TTIP 及び TISA などの貿易協定を交渉することによって力を増大したいと思っている。

ローザ・パヴァネリはさらに次のように続ける。

「私たちは恐ろしいほどの大きさの難題に直面していますが、2015年は現在のグローバルな現実を変える歴史的なチャンスです。7月半ばに、各国政府はエチオピアのアジスアババで開かれる第3回開発資金国際会議([Third International Conference on Financing for Development \(FFD3\)](#))において、今後数十年間の開発資金をどのように調達するかを決定することになっています。富裕国だけではなく、北から南までのすべての国が、対等な立場で国際的な税規則を決定する席に着くべきです。PSIは、公共サービスなくして開発はありえないことを確信しております。したがって、法人税改革を FFD3 のアジェンダの最上位に据えるよう提唱し、ロビー活動を展開します。」

PSIは、万人にとってより公平な課税制度を求めて動員し、要求するよう、全加盟組合に訴える。私たちは一緒に力を合わせて、少数ではなく多数の利益を代表する国際課税制度を要求することができる。私たちは一緒に力を合わせて、各国が万人に質の高い公共サービスをもっと提供できるようにするために、政府に対して税逃れの企てに挑戦するよう要求することができる。

私たちは次のことを要求する。

- **グローバルな解決策**：全員の利益になるような税政策と実施をコーディネートする包括的な政府間税機関 [intergovernmental tax body](#)

- **透明性:** 市民は、企業が操業する国ごとにその国での企業の利益額と納税額について知る必要がある。
- **多国籍企業は応分の額を支払う:** 子会社を租税回避地に持ち、単一の事業体として活動する多国籍企業は、単一の事業体として課税されるべきであり [taxed as single entities](#)、利益を移転して税金を回避できないようにすべきである。
- **質の高い公共サービスの財源としての公平な課税:** 無料で万人が利用できる質の高い保健医療と教育サービスの費用に充て、貧困をなくして不平等を減らすために、そして持続可能な開発の資金を得るために、私たちには公平な課税政策 [fair tax policies](#) が必要である

私たちにはあなた方が必要です。皆が一斉に立ち上がってこそ初めて公平な税制度を創設できるのです。#税の公正を

「ポスト 2015 年アジェンダ」の民営化に反対する PSI の請願書 [Sign the PSI petition](#) に署名してください。